



双塔

カトリック新潟教会

2025 年 6 月

No. 444

教皇と公会議

主任司祭 田 中 丈 夫

菊地功枢機卿様は『教皇フランシスコの逝去に際して』と題したメッセージの中で、教皇は「バチカンの機構改革や、第二バチカン公会議の成果を踏まえた教会のシノドス性の推進など、力強く教会を導かれた」「明確なリーダーシップをもって、第二バチカン公会議が目指した教会の改革を徹底することを目指された」と述べておられます。フランシスコ教皇のご逝去にあたり、第二バチカン公会議とは何であったのか、断片的ではあるが、簡単におさらいをしておきたいと考えた。

第二バチカン公会議(1962 年 10 月 11 日～1965 年 12 月 8 日)

教皇ヨハネ 23 世はしばしばアジョルナメント(現代化)という言い方をされ、いわば第二バチカン公会議のキャッチフレーズのようにになりました。現代の世界の中で働く教会が、本当に人々に意味のある(有効な)存在となるために、教会のあり方や働き方、表現の仕方を現代化するとともに、現代の人々、現代の問題に目を向けようという考え方だといえるでしょう。ヨハネ 23 世のユーモラスな表現を使えば、長くしめ切って空気のよどんだ教会に(現代の)風を入れ、ペトロの聖座(教皇庁)にたまったチリを吹き払うことともいえるでしょう。世界は急速に動いているのに、教会の中だけはメンタリティーも機構も規則も習慣も数百年前とまったく同じ、というのでは、教会本来の使命－キリストの福音を宣べ伝える使命－も果たせなくなってしまう。アジョルナメントは、現代世界の中で本当に生きた教会になろうとする努力なのです。(『神の国を目指して』-私たちにとっての第二バチカン公会議- 著 松本三郎 p8)

第二バチカン公会議が招集される以前の世界と教会の状況

◇17 世紀以降、ガリレオ問題(1564～1642)に象徴される合理主義・実証主義、フランス革命(1789～1799)の際に掲げられた「人間はみな自由・平等」であるという理念、産業革命(18c 後～19c 前)とともに誕生した資本主義経済がもたらした金至上主義、経済的な豊かさ至上主義、という新しい価値観・世界観が生まれた。この新しい価値観・世界観によって生み出された新しい流れ(近代主義)は、それまでは誰一人疑うことがなかった神の存在に疑問を抱かせ、教会に対する不信感をあおるものだったため、教会は新しい流れを危険な毒として受け取り、それと真っ向から立ち向かわざるを得なくなったのである。

◇ピオ 9 世(1846～78 年) からピオ 12 世(1939～58 年)までの歴代教皇に共通するものは、近代主義との闘いであり、人々の営みを世俗主義として厳しく断罪し、その毒に教会全体が毒されないよう、教会内の引き締めを行っていったのである。…。ピオ 9 世は 1869 年第一バチカン公会議を招集し、その中で、教皇の不可謬権を宣言する。…。このような教会の姿勢によって、19 世紀以降の教会は、教義について疑うことも議論することも許されない雰囲気になられるようになり、教会全体がある種の思考停止状態に置かれるようになったともいえる。聖職者をはじめ、信者たちの言動を監視し、それを取り締まる機関として検邪聖省が生まれたのも、この時期である。…。

◇第二バチカン公会議後、頑なな教条主義、秘跡中心主義、権威主義は和らぎ、教会全体が自由な息吹を取り戻し、社会との対話をも心がけるようになって、カトリック教会全体が大きく変わった。しかし、トリエント公会議後、数百年受け継がれてきた護教的で教義や秘跡を中心とした姿勢、聖職者主義は、根底から払拭されているとは言えない。(『教皇フランシスコ』-教会の変革と現代世界への挑戦- 森一弘 著 p94～)

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板お知らせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「お知らせ」のある方は、9時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会 日時 毎週水曜日 午前10時～、午後7時～

会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 町田神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会；野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 6月30日(月)、7月14日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

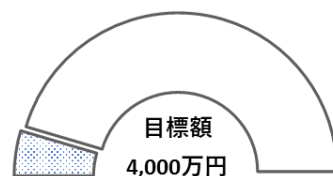
献金袋の中にお知らせを入れました。掲示板にも掲示しますので、皆様ご覧ください。

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000 万円

★2025 年 4 月末現在 累計額 3,655,650 円



（チラシ・加入者負担用払込取扱票は聖堂に置いてあります）

受け継がれてきた大切な祈りの場を、訪れる全ての人の為に、守り残していきましょう。

●復活祭 祝賀会カレー食材寄付とお手伝いのお礼（総務部）

大勢の方々から、カレー食材寄付・お手伝いをいただきありがとうございました。

祝賀会には70人の参加があり、みなさんでおいしいカレーをいただきました。

また、卵・クッキー販売収益 22,235 円は「新潟カテドラル保存会」に寄付いたしましたことご報告いたします。感謝のうちに。

●カトリック新潟教会のホームページについて（広報部）

セキュリティ対策強化の為、URL を https に変更しました。

ホームページへはこちらから <https://cathedral-niigata.jp>



2025 年 6 月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1 日(日)	主の昇天（祭日） ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室） ・英語ミサ（12:00） ・清掃日（センター、外のトイレ；英語ミサ後）
2 日(月)	・ 司祭の集い～ 4 日(水)
6 日(金)	・ ミサ 10:00（初金）
8 日(日)	聖霊降臨の主日（祭日） ・ インターナショナルデー（多言語合同ミサ、フェスタ（交歓会）；9:30 ミサ後 聖堂前広場 ※雨天センター2 階）
14 日(土)	・ 信仰養成講座（10:00 研究室）※指導：町田神父
15 日(日)	三位一体の主日（祭日） ・ 清掃日（聖堂、外のトイレ、センター；9:30 ミサ後） ・ 国際協力部会（清掃後 研究室） ・ 広報部会（9:30 ミサ後 事務室） ・ ベトナム語ミサ（12:00）
22 日(日)	キリストの聖体（祭日） ・ 教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室）
24 日(火)	洗礼者ヨハネの誕生（祭日） ミサ 10:00
27 日(金)	イエスのみ心（祭日） ミサ 10:00
29 日(日)	聖ペトロ 聖パウロ使徒（祭日） 聖ペトロ使徒座への献金

※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（第 1 日曜 12:00） ベトナム語ミサ（第 3 日曜 12:00）
火曜～木曜、土曜（7:00） 金曜（10:00）

★3 日(火)と 4 日(水)の朝ミサはお休み

★朝ミサは休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

